

	NPO 法人 京都観光文化を考える会 都草だより	第41号
		発行人：小松香織
		編集人：西野嘉一
		発行所：京都市上京区 下立売通新町西入 京都府庁旧本館2階
		電話：075-451-8146

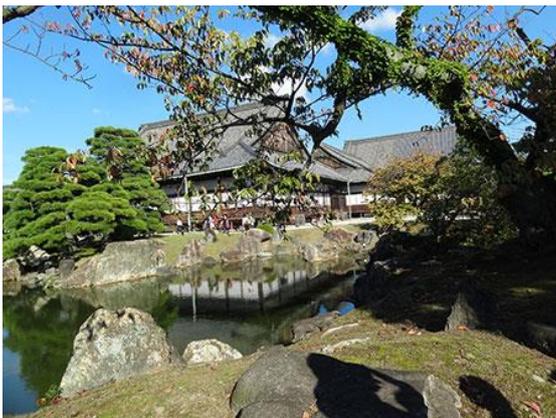
■ 新年度の抱負（ガイドについて）



昨年創立 10 周年を迎え、節目の年となる今年度は、今後の多種多様になった都草の活動全体を振り返り、今後の 10 年を考える良い時期でもございます。その中の一つであるガイド業務は、お陰様で様々な方面からご依頼をいただき、今日まで多くの経験を重ねてまいりました。都草の最初のご案内は、事務所開設と同時に始まった京都府庁旧本館でした。毎週日曜日に行っている京都御苑歴史散策ツアーは早や 3 年半が経ち、今年度から従

来のコースに加え「京都御所」コースもご案内することになりました。また、昨年度は延べ約 4 か月間、二条城のガイドも行いました。その他様々のガイドも含め、現在、都草の案内業務は実に多岐に亘っております。幸い都草には、最近入会の会員も含め、大変熱心なガイド希望の方々が沢山いらっしゃいます。今後は、これからガイドには是非トライしたいという会員にも、また今の自分のガイドに満足することなく、更なるスキルアップを目指す会員にも十分な勉強ができるよう、研修部門を充実してまいりたいと思います。世阿弥の『花鏡』に、「離見の見」や「初心忘るべからず」という言葉があるように研修を通じて自分を見直し「さすが都草のガイド！」と、お客様から喜んでいただけるガイドを目指していきたいと思います。今年度も皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます（理事長 小松 香織）

■ 二条城のガイドに参加して



私がガイドで気を付けている点は、お客様に分かりやすいガイドをすることです。勉強のために他のガイドさんの話も聞きに行きますが、その時「もっとこうして欲しいなあ」と感じた点を、自分なりに出来るように心掛けています。限られた時間の中で分かりやすいように絵や写真をたくさん用意し、難しい表現や言葉は避け、「分かりにくい所があれば何でも質問してください」とお伝えしています。「ここが分からなかったんですが」と言ってもらえる方が、次にそこを工夫出来るので勉強になります。

二条城で一番多く話すのは庭の事です。以前庭園のガイドもしていましたので、そこは自信があります。二の丸御殿の庭は、小堀遠州の作庭で石組の素晴らしい庭であることをご説明します。全国から集められた沢山の石が、これほど見事に組み合わせられた庭はそうはありません。数が多いせいで、どこをどう見ればいいのか分かりにくくもありますので、鶴島・亀島・蓬莱島の石組みは必ずご説明します。どの石がそうなのか私も最初は分からなくて、本を何冊も買ってしまいました。どこから見れば一番きれいなのかお伝えすると、お客様は必ずそこから写真を撮られます。他の場所でも樹木や石垣、石のことなど、時間があれば話しています。今回は普段入れない庭の南側からの景色を見ることが出来、本当に良かったと思っています。こういう特別の体験が出来ることも、ガイドの楽しみの一つですね。（会員 富楽 明美）

◆◇ 京都府庁旧本館「旧議場土曜講座－京の四方山ばなし」より 京都の路面電車 ◇◆

・ 2017 年 2 月 18 日

京都に交通博物館ができましたが、私の場合、鉄道、電車そのものではなく交通機関の変遷に興味があります。自分の体験、資料調べなどをもとに、切島 勇会員のお話、山本 喜康会員の資料拝借、また、スライド・DVD 等を皆様に助けてもらって用意いたしました。以下に内容を記載させていただきます。

構成

- ① 京都の路面電車の始まりから廃止
- ② 路面電車に関するエピソード
- ③ 現在の京都市民の電車への関心
- ④ 他府県の現在の路面電車
- ⑤ 市電の映像
- ⑥ 電車軌道を実際に歩くコース紹介

配布レジメの一部

日本初の路面電車（京電）

- 明治 28 伏見～七条間開通 疏水の水力発電利用 内国勸業博覧会に利用
- 33 北野線(N 電)が下の森まで開通(なぜ京都だったか 目的地 どこを通るか)
- 明治 45 京都市電開業(当初京電市電が競合)
- 大正 7 京電を市電が買収
- 以降路線や道路拡大 電車新型 全盛期～不況や戦時体制へ
- 昭和 32 市民の足として、乗客最盛期
- 36 北野線廃止(敷石の一部は清水産寧坂)
- 45 伏見線廃止
- 53 市電全面廃止

廃止の背景

- 乗客減少 ・車増加による渋滞 ・人口のドーナツ化 ・地下鉄、道路の整備計画

私が 100 人の市民に聞きました (2014 年)

市電 復活してほしいですか? はい (51)・いいえ (20)・一部復活など (29)

- 京都にあう 情緒がある 観光に必要 公害も少なくエコ
便利 景色がよく見える ゆったりしている 車規制して本格的に再生を
- × もっと渋滞する 地下鉄を増やすべき バスやバイク 自転車がいい
嵐電だけでいい もともと廃止すべきじゃなかった 今からは無理
- △ 近代的なトラムを (広島 富山を例に) 外周は必要 今出川は× チンチン電車のみ復活



(会員 新井 滋子)

－ おしらせ － (広報部 西野 嘉一)

いつも『都草だより』をご愛読いただきありがとうございます。

『都草だより』もこれまで 40 回の号を重ねてまいりました。そこで今回よりリニューアルした紙面をお届けします。研究発表会・各種講演会・四方山ばなし・歴史探訪会等の中から、興味深い話を抜粋してお届けする予定です。記事をご覧になって少しでも興味をもたれ、各種行事に参加される方が増えれば幸いと存じます。